

■ 事業一覧

基本方針1 魅力ある観光地づくりの推進			基本方針3 安全・安心で快適な観光地づくりの推進		
(1) 湯村温泉郷の活性化に向けた取組	1	湯村温泉郷の受入環境の向上に向けた具体的な検討	(1) Withコロナを踏まえた観光地づくりの推進	32	やまなしグリーン・ゾーン認証制度推進に向けた連携
(2) 昇仙峡の周遊観光の促進	2	周遊と滞在を意識した施設整備と散策コースの開発・整備		33	個別経営相談会の実施
(3) 甲府城跡周辺の受入環境の整備	3	甲府城周辺地域活性化実施計画の推進		34	ワーケーションの推進に向けた検討
(4) 信玄公生誕500年関連事業の推進	4	信玄公生誕500年関連イベントの実施・充実	(2) 観光客のおもてなしの推進	35	ホスピタリティ向上に向けた取組の促進
	5	武田二十四将などを活用した、武田氏城下町のイメージづくり		36	観光教育の推進
	6	「信玄公祭り」の実施・充実		37	美しい景観の形成
	7	「小江戸甲府の夏祭り」の実施・充実		38	観光誘致対策補助金事業の実施
	8	開府500年、生誕500年記念事業の活用と継承		39	MICE誘致の促進
(5) 観光コンテンツの造成	9	新たな観光コンテンツの検討・造成	(3) 二次交通の利用促進と新たな交通手段などの研究	40	公共交通と連携した周遊観光の情報提供
	10	新たなアウトドア・アクティビティの検討		41	レンタサイクルの利用促進
	11	ナイトタイムエコノミーの推進		42	MaaS・グリーンスローモビリティなどの調査・研究
(6) 都市観光の推進	12	甲府駅周辺における賑わいの創出	(4) インバウンド推進に向けた取組とユニバーサルツーリズムの推進	43	リニア駅周辺の交通結節機能の検討
	13	ワインや地酒を活用した事業の実施		44	甲府駅周辺の区画整理の推進
	14	市民向け施設やイベント・まつりの活用		45	観光情報の多言語化とおもてなしショップ登録制度の推進
	15	ボランティアガイドの育成・充実		46	東京オリンピック・パラリンピックに関連したプロモーションの展開
	16	ニューツーリズムの推進		47	外国人向け周遊コースの開発検討
(7) 観光関連施設の維持管理	17	日本遺産の地域活性化事業等の推進による観光振興	(5) 観光関連施設の維持管理	48	ユニバーサルデザインに配慮した外国人観光客及び高齢者・障がい者への対応
	18	昇仙峡における四季ごとの魅力づくりの推進		49	観光客が安心して旅行できる環境づくり
	19	甲府名山事業		50	観光施設の維持管理
	20	甲武信ユネスコエコパーク推進事業		51	無料公衆無線LAN 環境の提供
	21	武田氏館跡歴史館（信玄ミュージアム）活用事業		52	登山道・遊歩道の維持管理及び安全確保
(8) 武田氏の歴史を活用した観光推進	22	甲斐善光寺御開帳における連携事業の実施	基本方針4 効果的な情報発信	53	森林や関連施設の整備、維持管理
	23	ボランティアガイドを活用した事業の実施		54	観光情報の発信強化・充実
	24	史跡武田氏館跡の復元公開・活用		55	市観光ホームページの改善・拡充
(9) 地域資源の活用	25	魅力発見事業の実施	(1) ターゲットに合わせた積極的・効果的な情報発信	56	SNSを活用した情報発信
	26	アウトドア関連施設の活用		57	マスコミ・デジタルサイネージを活用した情報発信
	27	動物園整備事業		58	商談会やインバウンド向けキャンペーン等への参加
(10) 地場産品等を活用した誘客と消費の促進	28	甲府之証の推進	(2) 多言語での情報発信	59	新たな情報発信手段の検討
	29	農産物直売所の活性化・農産物などの関連情報の発信強化		60	県外居住者向けの移住を見据えた観光情報などの提供
	30	ジュエリー等の地場産品の活用		61	公共交通等を活用した広告の掲出
	31	新たな土産物やメニューの開発推進		62	多言語での外国人向け観光情報の発信強化
(11) 観光推進体制の強化	32	新たな土産物やメニューの開発推進	(3) フィルムコミッションの活用	63	フィルムコミッション事業の拡充
	(1) 観光関連団体及び事業者等との連携強化	64		(一社) 甲府市観光協会をはじめとした観光関連団体及び事業者等との連携充実	
	(2) 産学官の連携強化	65		ボランティアとの連携充実	
	(3) 広域連携の推進	66		教育機関・民間事業者・シンクタンクなどの連携強化と観光振興事業の実施	
		67		広域連携の推進	
68		新たな広域連携に向けた取組			
	69	クリスタルラインの利用増進と活用			
	70	中部横断自動車道山梨-静岡間開通を踏まえた誘客推進			

**数値目標**

観光入込客数の増加率	外国人宿泊者数の増加率
宿泊者数の増加率	観光消費額

※具体的な数値は、今後の新型コロナウイルス感染症の収束の状況を踏まえ、検討します。

■ 推進体制

市民、観光関連団体及び事業者、教育機関、甲府市や山梨県などがそれぞれの役割を明確にし、本市の観光施策を担う実施主体と、知恵と力を合わせ協働して、本市の観光振興の取組を進めます。そのために、「観光振興基本計画推進会議」において、本計画の進捗状況の検討、実施事業の評価、計画変更の議論などを引き続き行います。さらに必要な場合は、関係団体と連携し推進委員会や研究会などを設置し、検討を進めていきます。

**第3次甲府市観光振興基本計画 <概要版>**  
**甲府市 産業部 産業総室 観光課**  
**TEL 055-237-5702 / FAX 055-227-8065**  
**電子メール sangkaka@city.kofu.lg.jp**

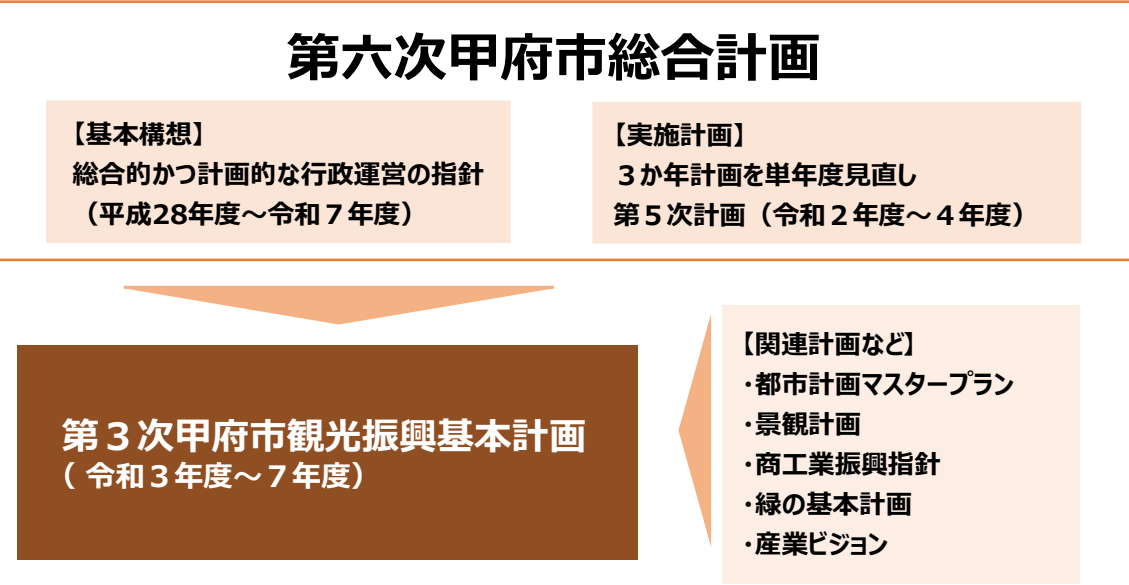
# 第3次甲府市観光振興基本計画 <概要版>

■ 計画の策定背景と目的

第2次観光振興基本計画の計画期間である2015（平成27）年度～2020（令和2）年度は、開府500年の歴史的な節目を迎えたほか、中核市への移行、そしてリニア中央新幹線の新駅が甲府市に正式決定、そして新型コロナウイルス感染症の流行など、観光を取り巻く環境に大きな変化がありました。これらを踏まえ、市民、観光関連団体及び事業者、教育機関、甲府市や山梨県などが、互いに情報を共有し、観光振興を一層推進していくため、これからの5年間に取り組むべきことを「第3次甲府市観光振興基本計画」として、策定することとしました。

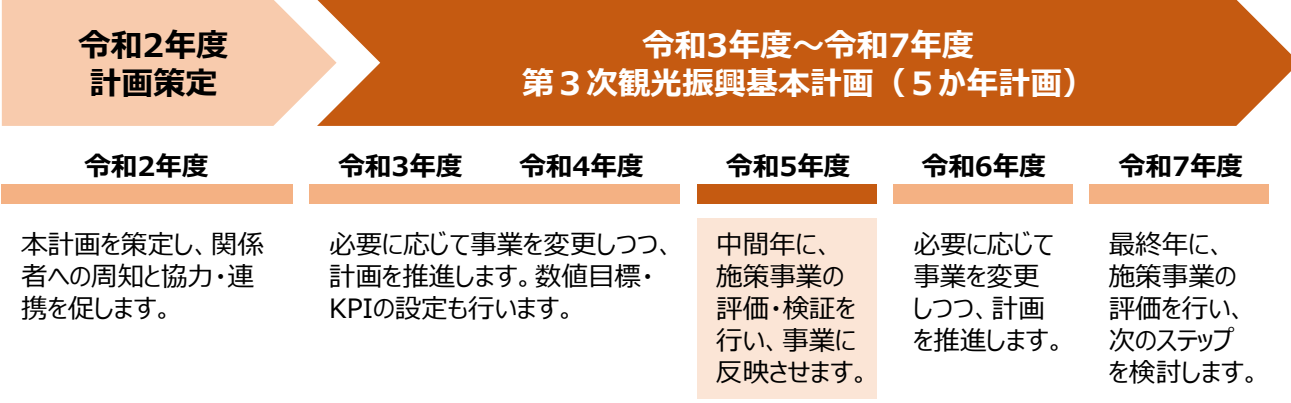
■ 計画の位置づけ

市政運営の指針であり、本計画の上位計画にあたる第六次甲府市総合計画では、都市像として「人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府」を掲げ、当該都市像を実現するための4つの基本目標を定めています。また、本市では都市計画マスタープラン、景観計画、商工業振興指針、緑の基本計画、産業ビジョンなど、関連計画等において、さまざまな観光へのアプローチが示されています。本計画では上位計画及び他計画等の内容を踏まえ、都市像の実現に向けた観光振興の基本方針を示します。



■ 計画の期間

本計画の実施期間は、2021（令和3）年度～2025（令和7）年度までの5年間とします。また、計画期間の中間年と最終年において、施策事業の評価・検証を行い、観光客の動向などについては、単年度ごとに統計データを収集・分析し、その後の施策事業に反映させていきます。さらに、社会情勢や住民意識の変化など様々な状況を考慮して、必要に応じて、計画の見直しを行います。



## 甲府市の観光課題

## ①観光客の滞在時間の延伸やリピーターの増加に取り組む必要があること

本市を訪れる観光客の平均滞在時間は、約50%が6時間以内と短い状況にあります。観光資源の磨き上げやコンテンツ造成等を行い、「また訪れたい観光地」づくりを推進することで、滞在時間の延伸とリピート率の向上を図っていく必要があります。

## ②観光資源の認知度向上を図るための取組を行う必要があること

本市への非来訪の理由は、「何があるかわからないから」が約4割で、最も高い割合となっています。時代の変化に対応し、ターゲットに効果的にアプローチするプロモーションを展開し、観光資源の認知度向上を図っていく必要があります。

## ③観光消費額の増加につながる施策に取り組む必要があること

国内外において、モノ消費からコト消費へ変化しているといわれる中、これからの観光資源を活用し、付加価値を高めた商品開発や体験型のコンテンツの造成など、観光消費額の増加に向けた取り組みが必要になります。

## ④新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた施策に取り組む必要があること

本市への新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、感染症対策を取りながら、状況に応じた観光支援策が必要です。また、外国人観光客についても今後の需要回復を見据え、受入整備を進める必要があります。

## ⑤地域の事業者や、他自治体との連携を推進する必要があること

事業者アンケート調査によると、周遊観光促進に向けた地域事業者との連携強化や他自治体と連携した取組の強化が課題として挙げられています。地域の事業者との連携や、周辺自治体との連携体制の構築に、より一層取り組む必要があります。

## 甲府市の強み

## ①御嶽昇仙峡など自然に関する観光資源がある

本市の有数の観光地である昇仙峡とその一帯の有形・無形の文化財が織りなすストーリーは、2020（令和2）年度に「日本遺産」に認定されました。また、本市の北部に位置する金峰山及びその一帯は2019（令和元）年度に甲武信ユネスコエコパークとして認定され、それを契機とした地域活性化が期待されます。

## ②武田信玄公など歴史に関する観光資源がある

武田信玄公をはじめとする歴史に関する観光資源等が点在する本市は、2019（令和元）年に開府500年を迎えました。今後も、信玄公ゆかりの温泉地として知られる「湯村温泉郷」や、2021（令和3）年の「信玄公生誕500年」、2022（令和4）年に予定されている「甲斐善光寺御開帳」などを活用した観光振興が有効であると考えます。

## ③首都圏からの交通アクセスが良い

本市は東京から電車で、90分程度で訪れることができる絶好のエリアにあります。今後、中部横断自動車道の山梨―静岡間の全線開通や、リニア中央新幹線の山梨県駅の建設など、首都圏などからの交通アクセスが格段に向上することが予測されます。

## ④知名度が高く美味しい食や、魅力のある特産品がある

「日本ワイン発祥の地」である本市には全国有数のワイナリーが点在し、フルーツも豊富です。さらに「ほうとう」や「甲府烏もつ煮」など飲食に関する観光資源も存在しています。また、本市は全国有数のジュエリーの生産地として知られ、日本遺産認定のストーリーとともに、観光資源として活用することが有効であると考えます。

## 自然・歴史・文化が人を呼び

## 賑わいを創出する

## 信玄公生誕の地・甲府

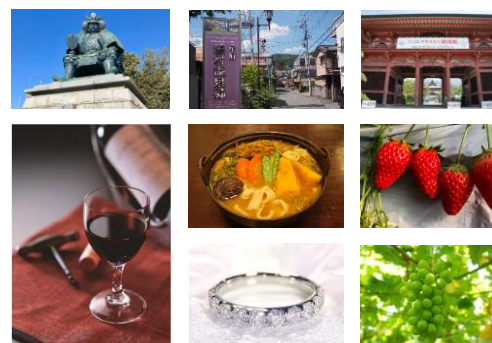
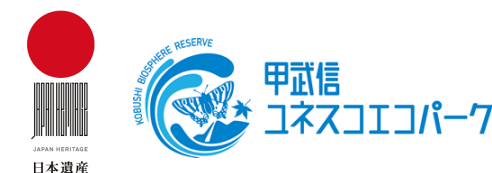
本市は、自然・歴史・文化など魅力的な資源に恵まれています。それは、本市が持つ大きな「強み」です。その強みを活かした市内および周辺地域の観光関連事業者や観光関係団体の活発な取組により、多くの観光客の来訪を実現してきました。

首都圏に隣接するという好条件、豊かな観光資源、そして中世から連続と連なる歴史、こうした恵みが持つ可能性を最大限に活かし、多様化する観光ニーズに応え、親しまれる観光地となることが望まれます。

特に、本市は1519（永正16）年に戦国時代の名将・武田信玄公の父、信虎公が「躑躅が崎」に本拠地を構えてから500年の時を経て、2019（令和元）年の「こつふ開府500年」、2021（令和3）年の「信玄公生誕500年」という大きな節目を迎えています。500年の歴史を大切に守り、後世に伝えていくためにも、本市の礎を築いた武田信玄公の功績や歴史を活かし、誘客につなげることが望まれます。

今後も、本市の大きな特徴である観光資源のさらなる磨き上げを、事業者や関係団体の皆様とともに、それらを活用した観光のまちづくりに取り組みます。また、付加価値の高い観光コンテンツや周遊プランの造成に向け、地域に根ざした体制を構築し、多くの観光客が行き交い賑わいのある観光地となるよう努めてまいります。

そのために本計画においては、本市観光産業の持続性を確保し、観光地として多様な観光客の獲得と、滞在時間の増加、観光消費の拡大を目指し、それらの達成に向けた取組を基本方針及び施策として位置づけてまいります。



## 基本方針①【重点方針】

## 魅力ある観光地づくりの推進

本市の主要な観光地におけるハードとソフト両面からの整備を進めるとともに、「信玄公生誕500年」関連事業を実施し、本市の課題である「滞在時間の延伸」や「リピーターの増加」につなげてまいります。

## 基本方針②

## 自然・歴史など地域資源の活用

ブランド力のある「日本遺産」や「ユネスコエコパーク」をはじめとした、本市の多種多様な地域資源の活用による誘客を促進するとともに、磨き上げによる高付加価値化や多角化を進め、「観光消費額の増加」につなげてまいります。

## 基本方針③

## 安全・安心で快適な観光地づくりの推進

コロナ禍の中で、またコロナ禍の収束に向けた、安全・安心な観光地づくりを実施します。特に、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、観光振興を図る上で重要な二次交通の利用促進や訪日外国人旅行者の誘客促進施策を展開します。

## 基本方針④

## 効果的な情報発信

対象者やニーズを踏まえた効果的な情報発信を推進します。さらに、観光の高付加価値化やブランド力の向上に努め、観光消費額の向上につながるような情報発信に取り組んでまいります。

## 基本方針⑤

## 観光推進体制の強化

観光の課題に対応するため、地域事業者など多種多様な業界や、教育機関・民間事業者・シンクタンク、さらには県内外における周辺自治体との広域的な観光連携体制の強化を推進してまいります。

- ① 湯村温泉郷の活性化に向けた取組
- ② 昇仙峡の周遊観光の促進
- ③ 甲府城跡周辺の受入環境の整備
- ④ 信玄公生誕500年関連事業の推進
- ⑤ 観光コンテンツの造成
- ⑥ 都市観光の推進

- ① 日本遺産を活用した昇仙峡地域の活性化への取組
- ② 甲府名山や甲武信ユネスコエコパークの活用
- ③ 武田氏の歴史を活用した観光推進
- ④ 地域資源の活用
- ⑤ 地場産品等を活用した誘客と消費の促進

- ① Withコロナを踏まえた観光地づくりの推進
- ② 観光客のおもてなしの推進
- ③ 二次交通の利用促進と新たな交通手段などの研究
- ④ インバウンド推進に向けた取組とユニバーサルツーリズムの推進
- ⑤ 観光関連施設の維持管理

- ① ターゲットに合わせた積極的・効果的な情報発信
- ② 多言語での情報発信
- ③ フィルムコミッションの活用

- ① 観光関連団体及び事業者等との連携強化
- ② 産学官の連携強化
- ③ 広域連携の推進